

令和4年度 学校運営等に関する評価書

学校名

和歌山市立東山東小学校

作成日

令和 5 年 3 月 3 日

1 教育目標

生きる力をはぐくみ、心身ともに健やかで、明日の社会を築く豊かな創造性と実践力を持つ子どもの育成

2 学校自己評価についてのご意見

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	- 県学習到達度調査の正答率が県平均を上回る - わかる授業、児童主体の授業を実践したと思う。(児童・教師90%) - うちどく50・100ブック達成(45人以上)	- 学校が楽しいと感じる(児童90%) - いじめ解消率(100%) - 小学校道徳「いきるちから」「心のとびら」の活用(100%)	- 新体力テストで全国平均を上回る 「早寝・早起き・朝ごはん」の実行(90%) - 避難訓練を年3回実施計画する(100%)	- 地域とかかわった実践を全学年で実施する - 学校の様子がよく伝わった(保護者80%) - ホームページを積極的に活用する
重点目標 意見 に対する	- 基礎基本の確かな学力の定着は大切である。 - 家庭学習の定着は、学校と家庭の連携した取り組みが必要である。 - 読書環境を高め、子どもたちに読書への興味をもってほしい。	- 互いに認め合う仲間づくりを通して、思いやりの心を育んでほしい。 - 体験的な活動は豊かな心の育成にも役立つ。 - 道徳教材を有効に活用し、道徳心や人権意識を高めてほしい。	- しっかり体力をつけてほしい。 - 基本的な生活習慣の確立は大切なことである。 - 避難訓練等日々の防災教育を充実させ、防災意識を高めてほしい。	- 地域の方々を招いての取り組みや交流は評価できるのであり今後も大切にしたい。 - 学校便り、ホームページでの報発信は大切である。
取組 状況 意見 に対する	- 県学習到達度の結果より基礎学力の定着が必要である。 - 放課後の学習等で個に応じた指導の充実をお願いしたい。 - 家庭学習の定着率が低い。 - 図書室やうちどくコーナー等の図書環境が整えられている。	- 学校と地域が連携し子供達に体験的な活動を多く取り入れ、豊かな心を育てている。 - 挨拶もしっかりでき、優しい子ども達に育っていると思う。 - コロナ禍で出来ていなかった夏休みの清掃作業をそろそろ復活させてはどうか。	- 運動に親しむ機会を工夫し、基礎体力の向上を図ることが大切である。 - フッ化物洗口や給食後の歯磨き活動で歯の健康の増進に力を入れてくれている。	- 昨年度より地域との交流機会を多く持ち、連携事業を積極的に行っている。 - ホームページで学校の子どもの様子がよくわかる。楽しみにしている。
に取組 する 適切 さの 検証 結果	- 各学級学習規律をよく守り、進んで学ぼうとする姿勢が見られる。 - 自主学習や家庭との連携を密に学力の向上をめざしてほしい。 「うちどく」の表彰などに影響を受けて、それを励みに取り組んでいる。また、高学年の表彰について見直すことはよいことである。 「うちどく」の表彰に影響を受け、それを励みに取り組んでいる。	- 学校が楽しいとする児童が多いのはうれしいことである。数名の楽しいと思えない児童にも目を向けてあげてほしい。 - 児童は遊びでも学習でも生き生きと取り組んでいる様子が感じられる。 - 高校生と障がい者の方との交流は、子ども達のゆたかな心の育成に大きくつながったと言える。	- コロナ禍の中、健康・安全の為に工夫して取り組んでいた。 - 基礎的な運動は大切。これまでの成果は出ている。一輪車の活用等も検討してはどうか。 - テレビやゲームの時間短縮など家庭と連携しながら規則正しい生活の指導を行ってほしい。 - 避難訓練の実施は子ども達の防災意識を高めている。	- 今後もこの活動を進め、子ども達に様々な体験をさせて欲しい。 - 色々な体験活動に多くの方が参加していただけるよう、情報発信をお願いしたい。
改善 年度 方法 に 向け て る 意 見	- 個に応じた指導を充実させ、学力の定着に向けて取り組んでほしい。 - 対話的な学びが学力向上に結び付いていけるようさらに研究を深めて行ってほしい。 - 家庭と連携し、家庭学習の定着を図り、子ども達が計画的に自主学習に取り組めるよう尽力してほしい。	- 子ども達の心身の健全育成のために様々な活動や取り組みを積極的に行ってもらいたい。 - 縦割り活動を復活させ、異年齢の子ども達に関わる機会を増やし思いやりの心の育成に繋げてほしい。 - 学校、家庭、地域が一体となって子ども達を見守っていただけるよう積極的に働きかけをしてほしい。	- 基礎的な運動ができる機会を大切にしてほしい。 - フッ化物洗口を継続し、歯の健康増進をお願いしたい。 - 家庭との連携を密にし、基本的な生活習慣の確立を図っていただきたい。 - 避難訓練を継続し、避難経路や避難方法を見直し、より安全に避難できるようにしてほしい。	- 授業のゲストティーチャーやボランティア等地域の人材や文化を積極的に活用できればいい。協力したい。 - 地域の方が気軽に来れる場所があればいい。 - 通学路の安全対策や危険な所があれば知らせてほしい。できることは協力していきたい。

3 その他のご意見

- ・カウンセリングや児童のクールダウンのための場所や図書室の独立のための教室が確保できるように働きかけたい。
- ・コミュニティスクール向上のためのネットワークづくりに協力したい。
- ・防犯カメラの設置は大変良かった。来年度は南門付近にも一台設置を検討していただきたい。
- ・今後も学校設備や通学路等についてさらに環境整備に努めていただきたい。